

平成27年度
蓮田白岡衛生組合
一般会計決算審査意見書

蓮田白岡衛生組合監査委員

平成27年度蓮田白岡衛生組合一般会計歳入歳出決算審査意見書

第1 審査の対象

平成27年度 蓮田白岡衛生組合一般会計歳入歳出決算

第2 審査の期日

平成28年8月30日

第3 審査の方法

平成27年度の蓮田白岡衛生組合一般会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書に基づき、計数の正確性を確認するとともに予算の執行状況が適切かつ効率的に行われていたかを審査した。

第4 審査の結果

平成27年度の一般会計歳入歳出決算書、事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書はいずれも関係法規に準拠して作成されており、各計数は適正なものと認められた。

第5 決算の概要

1 総括

平成27年度一般会計決算額の歳入歳出予算現額は2,159,848,000円である。

歳入決算額は、2,167,614,799円（予算現額に対する割合100.4%）歳出決算額は、2,104,188,514円（予算現額に対する割合97.4%）で、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支額は63,426,285円となり、翌年度への繰越財源はないので、実質収支額は形式収支額と同額である。

2 財政規模の推移

（単位：千円）

区 分		平成27年度	平成26年度	平成25年度	すう勢比率		
					27/25	26/25	25
予算現額		2,159,848	2,346,272	2,022,047	106.8%	116.0%	100.0%
歳入決算額		2,167,615	2,367,008	2,037,300	106.4%	116.2%	100.0%
歳出決算額		2,104,189	2,298,491	1,943,531	108.3%	118.3%	100.0%
差引残額		63,426	68,517	93,769	—	—	—
翌年度 へ繰越 すべき 財源	(1) 継続費通次繰越額	0	0	0	—	—	—
	(2) 繰越明許費繰越額	0	0	0	—	—	—
	(3) 事故繰越し繰越額	0	0	0	—	—	—
実質収支額		63,426	68,517	93,769	—	—	—

予算現額においては、平成26年度と比較して186,424千円の減額となっている。

減額の主な内容は、ごみ処理施設延命化事業に係る組合債と繰越金が減額となったためである。

全体としては、厳しい財政状況下において、健全な財政運営が図られたものと認められる。

第6 歳入の状況

歳入の決算状況は、予算現額 2,159,848,000 円に対し、調定額 2,167,614,799 円で収入済額も同額である。

前年度に対し増額となった科目は、2 款の使用料及び手数料 348,243,679 円で前年度対比 7,112,057 円（2.1%）の増額である。

一方、前年度に対して減額となった科目は、1 款の分担金及び負担金 1,141,664,220 円で前年度対比 8,370,960 円（0.7%）の減額、3 款の財産収入 87,207,002 円で前年度対比 13,636,452 円（13.5%）の減額、5 款の繰越金 68,517,593 円で前年度対比 25,251,993 円（26.9%）の減額、6 款の諸収入 3,682,305 円で前年度対比 4,246,178 円（53.6%）の減額、7 款の組合債 518,300,000 円で前年度対比 155,000,000 円（23.0%）の減額である。

款別の主な増減の理由は、以下のとおりである。

1 款 分担金及び負担金 （単位：千円）

区 分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	C/A	C/B	収入総額 構成比
平成 27 年度	1,141,241	1,141,664	1,141,664	100.0%	100.0%	52.7%
平成 26 年度	1,149,588	1,150,035	1,150,035	100.0%	100.0%	48.5%
比較増減	△8,347	△8,371	△8,371	0	0	4.2p
前年比	△0.7%	△0.7%	△0.7%	-	-	-

歳入決算総額に対する構成比率は 52.7% であり、前年度と比較して 8,371 千円（0.7%）の減額である。

分担金は 1,063,632 千円で前年度対比 9,384 千円（0.9%）の減額で、主なものは、電気料金において、契約電力の引き下げや原油価格が安価であったことにより減額となったものである。

負担金は 78,032 千円で前年度対比 1,013 千円（1.3%）の増額であり、世帯数の増加によるものである。

なお、ごみ処理施設延命化事業に係る分担金は、96,701 千円で前年度対比 2,307 千円（2.3%）の減額となっている。

2 款 使用料及び手数料 （単位：千円）

区 分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	C/A	C/B	収入総額 構成比
平成 27 年度	344,125	348,244	348,244	101.2%	100.0%	16.1%
平成 26 年度	335,514	341,132	341,132	101.7%	100.0%	14.4%
比較増減	8,611	7,112	7,112	△0.5p	0	1.7p
前年比	2.6%	2.1%	2.1%	-	-	-

歳入決算総額に対する構成比率は 16.1% であり、前年度と比較して 7,112 千円（2.1%）の増額である。

このうち、ごみ手数料は 329,809 千円で前年度対比 8,694 千円（2.7%）の増額であり、主な内容は、ごみ処理手数料（有料指定袋）が 210,709 千円で前年度対比 4,780 千円（2.3%）の増額、搬入ごみ手数料は、110,379 千円で前年度対比 3,408 千円（3.2%）の増額となっている。

また、し尿手数料は 18,370 千円で前年度対比 1,602 千円（8.0%）の減額となっている。

3 款 財産収入

（単位：千円）

区 分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	C/A	C/B	収入総額 構 成 比
平成 27 年度	86,296	87,207	87,207	101.1%	100.0%	4.0%
平成 26 年度	88,404	100,843	100,843	114.1%	100.0%	4.3%
比 較 増 減	△2,108	△13,636	△13,636	△13.0p	0	0.3p
前 年 比	△2.4%	△13.5%	△13.5%	—	—	—

歳入決算総額に対する構成比率は 4.0%であり、前年度と比較して 13,636 千円（13.5%）の減額である

このうち、物品売払収入は 87,120 千円で前年度対比 13,690 千円（13.6%）の減額である。主な内容は、鉄・アルミ売却が 30,103 千円で前年度対比 4,968 千円（14.2%）の減額、ペットボトル売却が 11,602 千円で前年度対比 6,471 千円（35.8%）の減額となっている。

また、財産運用収入は 87 千円で施設整備基金の積立利子であり、前年度対比 53 千円（160.7%）の増額となっている。

4 款 繰 入 金

（単位：千円）

区 分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	C/A	C/B	収入総額 構 成 比
平成 27 年度	1	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
平成 26 年度	1	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
比 較 増 減	—	—	—	—	—	—
前 年 比	—	—	—	—	—	—

繰入金の収入額はありません。

5 款 繰 越 金

（単位：千円）

区 分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	C/A	C/B	収入総額 構 成 比
平成 27 年度	68,517	68,518	68,518	100.0%	100.0%	3.1%
平成 26 年度	93,769	93,769	93,769	100.0%	100.0%	4.0%
比 較 増 減	△25,252	△25,251	△25,251	0	0	△0.9p
前 年 比	△26.9%	△26.9%	△26.9%	—	—	—

歳入決算総額に対する構成比率は 3.1%であり、前年度と比較して 25,251 千円（26.9%）の減額である。

6 款 諸 収 入

(単位：千円)

区 分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	C/A	C/B	収入総額 構 成 比
平成 27 年度	1,368	3,682	3,682	269.2%	100.0%	0.2%
平成 26 年度	5,696	7,929	7,929	139.2%	100.0%	0.3%
比 較 増 減	△4,328	△4,247	△4,247	130.0p	0	
前 年 比	△76.0%	△53.6%	△53.6%	—	—	—

歳入決算総額に対する構成比率は 0.2%であり、前年度と比較して 4,247 千円(53.6%)の減額である。主な内容は、平成 26 年度において、降雪によるごみ処理施設出窓屋根の破損被害に係る建物災害共済金として 4,324 千円の収入があったが、今年度における収入はなく、減額となっている。

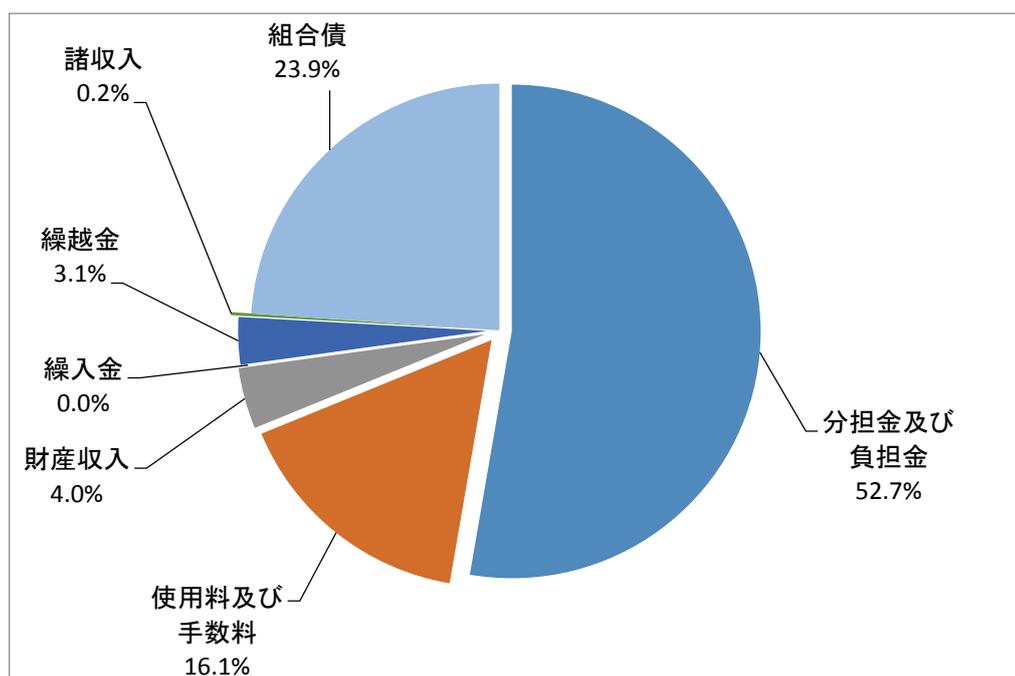
7 款 組 合 債

(単位：千円)

区 分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	C/A	C/B	収入総額 構 成 比
平成 27 年度	518,300	518,300	518,300	100.0%	100.0%	23.9%
平成 26 年度	673,300	673,300	673,300	100.0%	100.0%	28.5%
比 較 増 減	△155,000	△155,000	△155,000	0	0	△4.6p
前 年 比	△23.0%	△23.0%	△23.0%	—	—	—

歳入決算総額に対する構成比率は 23.9%であり、前年度と比較して 155,000 千円(23.0%)の減額である。これは、平成 25 年度から実施しているごみ処理施設延命化事業に係る借入金額の減額によるものである。

款別歳入決算構成図



第7 歳出の状況

予算現額 2,159,848,000 円に対し、支出済額は 2,104,188,514 円で 55,659,486 円が不用額となっている。

なお、歳出の性質別決算状況は次のとおりとなっている。

(単位：千円)

区 分		平成 27 年度		平成 26 年度		比較増減	
		決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	率
経常的 経 費	人件費	292,079	13.9%	301,990	13.1%	△9,911	△3.3%
	物件費	974,587	46.3%	994,840	43.3%	△20,253	△2.0%
	維持補修費	10,844	0.5%	12,741	0.6%	△1,897	△14.9%
	扶助費	2,970	0.1%	3,105	0.1%	△135	△4.3%
	補助費等	3,638	0.2%	3,592	0.2%	46	1.3
	計	1,284,118	61.0%	1,316,268	57.3%	△32,150	△2.4%
投資的 経 費	普通建設 事業費	660,230	31.4%	835,302	36.3%	△175,072	△21.0%
	計	660,230	31.4%	835,302	36.3%	△175,072	△21.0%
その他 の経費	公債費	104,754	5.0%	106,888	4.7%	△2,134	△2.0%
	積立金	55,087	2.6%	40,033	1.7%	15,054	37.6%
	計	159,841	7.6%	146,921	6.4%	12,920	8.8%
合 計		2,104,189	100.0%	2,298,491	100.0%	△194,302	△8.5%

歳出決算額 2,104,189 千円は、前年度と比較して 194,302 千円(8.5%)の減額である。

経常的経費の決算額は、歳出総額の 61.0%を占めており、前年度と比較して 32,150 千円(2.4%)の減額となっている。これは、職員数が 34 名から 32 名になったことにより、人件費が減額したこと並びに物件費において、原油価格が安価で推移したことなどにより光熱水費が減額となったことによる。

投資的経費の決算額は、歳出総額の 31.4%で、前年度と比較して 175,072 千円(21.0%)の減額となっている。これは、平成 25 年度から実施しているごみ処理施設延命化事業の補修工事に係る普通建設事業費が減少したものである。

その他の経費の決算額は、歳出総額の 7.6%で、前年度と比較して 12,920 千円(8.8%)の増額となっている。これは、新たなごみ焼却施設建設に向けての施設整備基金を増額したことにより、積立金が増加したものである。

1 款 議 会 費

(単位：千円)

区 分	予算現額	支出済額	執行率	不用額	支出総額構成比
平成 27 年度	1,360	1,259	92.6%	101	0.1%
平成 26 年度	2,022	1,599	79.1%	423	0.1%
比較増減	△662	△340	13.5p	△322	0.0p
前年比	△32.7%	△21.3%	—	—	—

予算現額 1,360 千円に対して決算額は 1,259 千円であり、歳出総額に対する構成比率は、0.1%で前年度と比較して 340 千円 (21.3%) の減額である。主な内容は、議会視察研修先が前年度の山形県から、今年度は栃木県並びに茨城県で実施したことにより、特別旅費が 355 千円の減額となっている。

2 款 総 務 費

(単位：千円)

区 分	予算現額	支出済額	執行率	不用額	支出総額構成比
平成 27 年度	383,796	380,977	99.3%	2,819	18.1%
平成 26 年度	382,620	375,262	98.1%	7,358	16.3%
比較増減	1,176	5,715	1.2p	1,697	△1.8p
前年比	0.3%	1.5%	—	—	—

予算現額 383,796 千円に対して決算額は 380,977 千円であり、歳出総額に対する構成比率は、18.1%で前年度と比較して 5,715 千円 (1.5%) の増額である。

このうち、総務管理費が 380,896 千円で前年度対比 5,714 千円 (1.5%) の増額となっている。増額の主な内容は、財産管理費で蓮田白岡衛生組合施設整備基金条例に基づき、施設整備に必要な財源を確保するため当初予算 25,000 千円の積立金に加え、30,000 千円の積み増しをしたことによるものである。

また、一般管理費では、職員の人数が 34 名から 32 名に減員となったことにより、人件費が 9,911 千円 (3.3%) の減額となっている。

3 款 衛 生 費

(単位：千円)

区 分	予算現額	支出済額	執行率	不用額	支出総額構成比
平成 27 年度	1,664,609	1,617,199	97.2%	47,410	76.9%
平成 26 年度	1,849,413	1,814,742	98.1%	34,671	79.0%
比較増減	△184,804	△197,543	△0.9p	△30,764	△2.1p
前年比	△10.0%	△10.9%	—	—	—

予算現額 1,664,609 千円に対して決算額は 1,617,199 千円であり、歳出総額に対する構成比率は、76.9%で前年度と比較して 197,543 千円 (10.9%) の減額である。主な内容は、清掃総務費において、契約電力の引き下げや原油価格が安価で推移したことなどにより、光熱水費が 21,306 千円 (15.3%) の減額となっている。

また、じん芥処理費の工事請負費では、平成 25 年度から実施しているごみ処理施設延命化事業に係る工事費が 184,651 千円 (22.2%) の減額となっている。

4 款 公 債 費

(単位：千円)

区 分	予算現額	支出済額	執行率	不用額	支出総額構成比
平成 27 年度	105,083	104,753	99.7%	330	5.0%
平成 26 年度	107,217	106,888	99.7%	329	4.6%
比較増減	△2,134	△2,135	0	△1	△0.4p
前年比	△2.0%	△2.0%	—	—	—

予算現額 105,083 千円に対して決算額は 104,753 千円であり、歳出総額に対する構成比率は、5.0%で前年度と比較して 2,135 千円 (2.0%) の減額である。

このうち、元金分が 97,919 千円で前年度対比 3,165 千円 (3.1%) の減額、利子分は 6,835 千円で前年度対比 1,031 千円 (17.8%) の増額となっている。

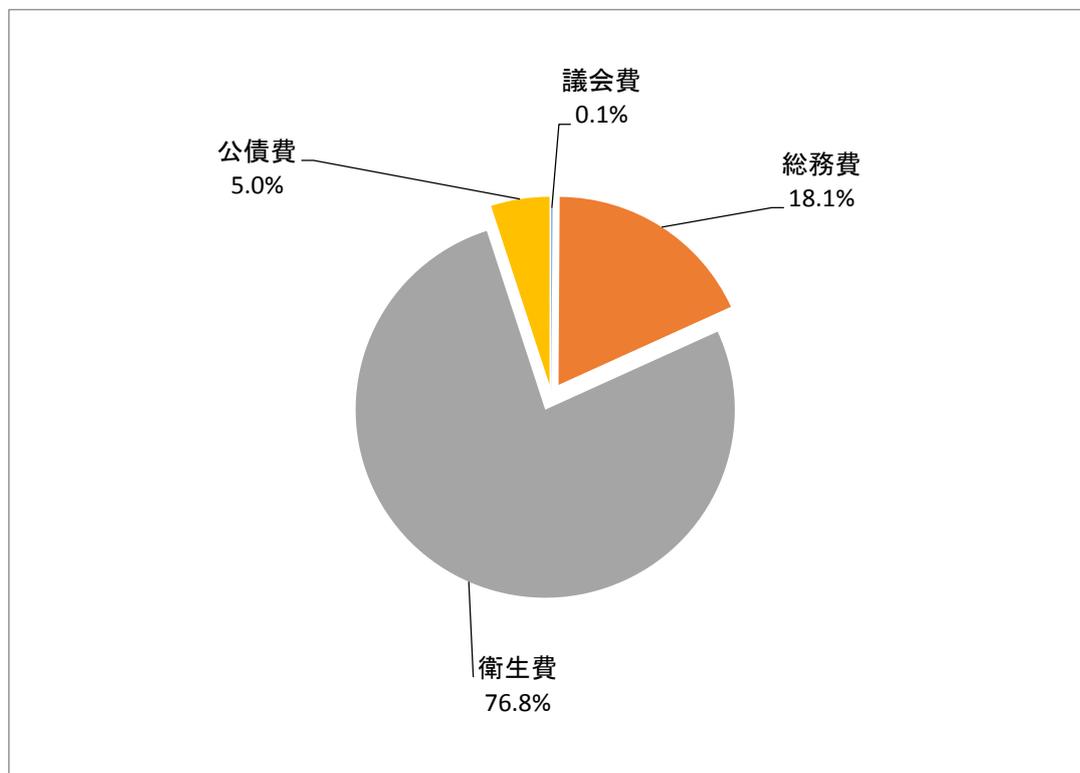
5 款 予 備 費

(単位：千円)

区 分	予算現額	支出済額	執行率	不用額
平成 27 年度	5,000	0	0.0%	5,000
平成 26 年度	5,000	0	0.0%	5,000
比較増減	0	0	0.0%	0p
前年比	0.0%	—	—	—

予備費の支出はありません。

款別歳出決算構成図



第8 財産に関する調書 (決算書 24 ページから 27 ページ記載のとおり)

1 公有財産

(1) 土地及び建物

2 物品

3 基金

(1) 施設整備基金

(単位：円)

区分	26年度末 現在高	27年度中増減高		27年度末 現在高
現金	65,042,747	55,086,687		120,129,434
		積立額	取崩額	
		55,086,687	0	

以上のとおり、公有財産、物品及び基金については、管理及び運営等につき、それぞれの目的に基づいて適正に管理されているものと認められた。

第9 むすび

決算は計算に誤りはなく証拠書類も整理され、会計経理も適正なものであった。

以下、審査の結果を踏まえ、次のとおり提言要望し、一般会計決算審査のむすびとする。

第1 提言要望事項

1 施設課の決算審査の契約に係る資料を確認したところ、需用費、委託料や工事請負費など、債務負担行為を除いた 63 件の契約のうち、90%を超えた 57 件において、77 日、63 日、49 日、47 日、37 日などを含めて契約期間よりも早い完了日となっていた。

早く完了するのであれば、完了日に合わせて契約書の変更を行うべきである。

2 現在、古紙の持ち去り行為の発見の一方策として、GPS 装置 2 台を「関東製紙原料直納商工組合」から無償で貸与を受け、搬入先の確認に使用している。今後も持ち去り予防上必要な器具であれば、当組合で購入するか有償で借り受け、使用するべきである。

3 歳出決算書の 3 款、衛生費において、不用額が 47,410,412 円生じている。

予算現額に対し 2.8%の不用額となっていることから、早期に執行状況及び決算見込みを行うなど、適正な時期に減額の補正予算措置を講じるべきである。

[凡例]

1 各表中の計数は、円単位で算出した数値を四捨五入で表記しているため、合計が合わない場合がある。

2 比率「%」は、表示単位未満を四捨五入した。このため、計数が一致しない場合がある。

3 表中の「△」印はマイナスを表すものとした。

4 「p」はポイントの略とした。